



～捨てるところがない全て活かせる菜の花～

「寄ろ会みなまた」について

寄ろ会みなまたは、平成3年に地域住民によって設立されました。

水俣病で分断された地域の心をひとつにするため、地域活動を通じて環境に優しいまちづくりに取り組んでいます。

その一環として「菜の花によるまちづくり」活動を進めています。平成18年からは小学校の児童と連携し、総合的な学習の時間を利用して菜の花体験活動を開始しました。

この活動では、子どもたちが菜の花を育てて収穫し、その種から作った菜種油を学校給食センターに寄贈しています。

これにより、子どもたちは貴重な体験を通じて食育を学び、地産地消の大切さを実感しています。



①菜の花を植える



②菜の花を見て楽しむ



③菜の花を刈り取る



⑥菜種から油を搾る



⑤さやと種をわける



④乾燥した種を落とす



⑦搾りかすを肥料にする



⑦菜種油を
給食センターへ贈呈する



⑧廃食油からろうそく
を作る